



APAYeNEWS

アジア・太平洋Y M C A 同盟月報 No.03/2010 年 4 月

翻訳協力：山崎往夫

1. 地球市民育成トレーナーズ・トレーニングY M C A ユース・ワークでG C E の促進、融合に焦点

5月25-30日、地球市民育成トレーナーズ・トレーニングが開催されます。約30人のY M C A ユース・リーダーとスタッフが地球市民教育について学び、これから地球市民教育を推進し、またY M C A のユース活動やコミュニティ開発に統合する働きが期待されています。バングラデシュ、香港中華Y M C A、インド、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、スリランカ、タイ、そして、ホストY M C AであるマカオY M C Aから参加の登録がされています。Y M C Aに関係のあるトレーナーやリソースパーソンが、地球市民育成プロジェクトに関する教育やプログラムアイデアの開発に対して指導するために招かれています。

2. 中国Y M C A、青海地震犠牲者に対応

4月12日、中国青海省にて非常に強い地震が起き、1000人以上の命が失われました。被災地は住民の多くが仏教徒のチベット自治区であり、直接的な支援活動の困難さもありますが、現在のY M C Aは支援の方法を模索しています。Y W C Aと会合をもち、被災地域の救済事業にRMB200,000元（約270万円）の寄付をしました。

現在各国への募金呼びかけは行われておりません。最新の情報は可能になり次第ご連絡いたします。

3. インドネシアY M C A パダンにて地震後リハビリテーション・プログラムを開始



2009年9月30日に起きた地震の6ヵ月後、インドネシアY M C Aは、西スマトラのパダンで地震後のリハビリテーション・プログラムを行いました。「子供たちを癒やし、未来を癒やす」と題したプロジェクトは、学校の授業が終わった後の午後1時-3時30分の時間にて、60人の子供たちに演劇、スポーツ、芸術、カウンセリングを通してトラウマを癒すものです。メダン、メトロ・ジャカルタ、ジョクジャカルタ

Y M C Aからの若いボランティアと、地元N G OパートナーであるK P I（インドネシア女性連合）、地元のコミュニティからの若いリーダーたちと共に、4月26日にプロジェクトを開始しました。若いボランティアたちは、トラウマの癒しに関する経験を重視して選ばれ、医者や心理学者などの専門家から必要なトレーニングを受けました。6月前半に終わる6週間のプロジェクトの期間中、彼らには舞台芸術の専門家が付き添います。深刻なケースの場合には、照会サービスがあります。

インドネシアY M C A 同盟総主事でプロジェクトの主なコーディネーターのRetha Margaretha氏は、K P Iと地元のコミュニティ・リーダーとの協働によって、プ



プログラム継続のための異文化間パートナーシップが強められるでしょうと述べました。パダンは、95%の住民がイスラム教徒で600-800の家族が暮らしています。

このプロジェクトは、日本、台湾及びシンガポールのY M C Aから頂いたアジア・太平洋Y M C A同盟が呼びかけた緊急アピール基金からご支援を頂きました。山田公平アジア・太平洋Y M C A同盟総主事は、去る4月17-18日に被災地の村を訪問しました。プロジェクトが終了次第、報告書が作成されます。

*このプロジェクトには全国から寄せられた募金(1,887,218円)の一部が用いられています。

4. 7月14-16日 アジア・太平洋Y M C A同盟ユースカウンシル

アジア・太平洋Y M C A同盟ユース・カウンシル(A Y C)のためのユース委員会ワーキング・グループは、香港中華Y M C Aウ・カイ・シャ・ユース・ヴィレッジで7月14-16日に予定されているユースイベントについて話し合うためのオンライン会議をしてきました。

A Y Cには、およそ50人のY M C Aユースリーダーとスタッフが参加し、彼らにとって重要な課題を協議し、討論します。テーマは、「次の10年に：Y M C Aユースリーダーシップ、参画、関わり」です。A Y Cは、この新しい10年のアジア・太平洋の絶えず変わる地域のために、新しい対話と考えの重要なパイプになろうとしています。それは、私たちが何年か先のY M C Aの使命を形成しチャレンジする事を探り、新しく出現する流れの証人となるのです。さらにまた同じ会場で、7月16-19日に行われる国際ユース・フォーラム(I Y F)のためにユース代表が準備し、彼らが意義ある貢献をできる場を提供します。

5. Y M C Aグローバル・オルタナティブ・ツーリズム・ネットワーク(G A T N)

Y M C Aグローバル・オルタナティブ・ツーリズム・ネットワーク(G A T N)のためのホームページは、6月末から使用開始とするために作成中です。G A T Nは、アジア太平洋地域のY M C Aが観光を「ホスト・コミュニティ」という視点でみるように促し、マストツーリズムによってもたらされた課題に対して人々の意識啓発を行い、コミュニティ中心、全体的なアプローチ、地球市民の提唱、自然保護、ジェンダー公正、及び経済的に実行可能なオルタナティブ・ツアーを発展させます。ウェブサイトには、G A T Nによって認証されたオルタナティブ・ツアーを掲載し、一般の人々がオンライン上で申し込めるようにします。



各Y M C Aは、教育旅行、ボランティア旅行、エコ冒険旅行、スピリチャル旅行、連帯旅行、スポーツ旅行などのオルタナティブ・ツアーの開発を始めるよう奨励されています。オルタナティブ・ツアーの受け入れに関心のあるY M C Aや、オルタナティブ・ツアーに参加者を送りたいY M C Aは、アジア・太平洋Y M C A同盟事務局まで連絡してください。

6. 第5回Y M C A東ティモール・ユースキャンプ

2010年8月1-9日、第5回Y M C A東ティモール・ユースキャンプが開催されます。「持続可能な開発と環境」をテーマに、独立後、まさに発展の途中にある東ティモールにて、現地のユースと海外のユースが集まり、環境を考慮した持続可能な開発について各国の経験を分かち合いながら



考えます。また、東ティモールY M C Aのコミュニティでの活動を学び、現地の子どもたちとの交流も行います。なお、今回のコースキャンプは「インターナショナルY M C Aコースキャンプ」として、東ティモール、日本、韓国などから青年たちの参加を予定しています。

* 現在参加者を募集しています。詳細はこちらから

http://www.ymcajapan.org/01.html#10_05_14

7. アジア・太平洋地域Y M C Aからのニュース

ペナンY M C A 第33回Y M C A国際聴覚障がい者ユース・キャンプのホストをつとめる

マレーシアのペナンY M C A総主事Ong Sooi Gaik氏によると、2010年7月30日 - 8月6日、第33回Y M C A国際聴覚障がい者ユース・キャンプ(HHキャンプ)をマレーシアで実施予定です。ペナンY M C Aが、HHキャンプのホストをつとめるのは今回が初めてで、2007年に大阪で行われたHHキャンプ常務委員会にて決定されました。これは2年ごとのプログラムとして2009年に開催される予定でしたが、新型インフルエンザのために延期されたものです。1週間にわたるキャンプは、韓国、日本、台湾、フィリピン、マレーシア、インドから参加者が集まり、文化交流、キャンプファイア、スポーツ・カーニバルなどのプログラムやイベントを行います。「ユニークでありなさい」が、今年のテーマです。HHキャンプの詳細については、ymcapg@po.jaring.myにお問い合わせ下さい。

ベトナムY M C A ケツツァーナ台風被災者支援に関するご報告

ベトナムの台風ケツツァーナの影響を受けたコミュニティと家族への緊急救援プログラムの実施に関する報告書が完成し、私たちのウェブサイトで見ることが出来ます。3月、緊急支援に財政支援を頂いたY M C Aに最初の報告書が送られました。台風ケツツァーナは、去る2009年9月26日にベトナムを襲い、国の北部から中心までいくつかの沿岸の行政区に影響を及ぼしました。Y M C Aは、台風によって最も影響を受けたKontumとホ・チ・ミン市から450kmも離れた山間部の行政区でその緊急支援を行いました。

報告書は、私たちのウェブサイトからダウンロードすることができます。

* インドネシアの地震災害と共にこのプロジェクトにも全国から寄せられた募金(1,887,218円)の一部が用いられています。

8. エキュメニカル・ニュース パートナー団体、ネットワーク

Y M C AとエキュメニカルNGOのための平和学校

10月25日 - 11月12日、アジアの南と南東部からのY M C A、アジアキリスト教協議会と他のエキュメニカル・グループのスタッフ、ボランティアのための3週間の平和学校がスリランカのコロンボにあるカトナヤケY M C Aインターナショナル・センターで開催されます。プログラムは、異宗派間の協力フォーラム(ICF)の一部として、Evangelischer Entwicklungsdienstによって支援されます。平和学校の参加者には、信仰間の類似点と相違点の認識、正義と平和に関する彼らの見解といくつかの紛争の原因などに関してより深い認識を発展させる機会となります。異なる信仰からの20-40歳の年齢層の参加者に申し込みの資格があります。

詳細/プログラム情報は、各国のY M C A同盟にまもなく送られます。

第13回アジアキリスト教協議会総会、初の女性総幹事を選出

アジアキリスト教協議会（C C A）の第13回総会が、去る4月14-21日クアラルンプールで開催され、19カ国から300人以上の参加者が集まりました。インドネシアのトラジャ教会からのアンリエット・フタバラット・レバン氏がC C Aで初めての女性総幹事として選ばれたことを祝福します。彼女は、長年アジアのエキュメニカルリーダーとして著名です。そして、C C Aがまだ香港にあった時にはC C Aの副総幹事として10年間プログラム調整のために勤めました。レバン博士は、10月の末に任期満了で引退するタイのプラワテ・キッドルン博士の後、11月より引き継がれます。

9. APAY 財務役員の西村隆夫氏、国際ワイズメンズクラブ書記局長に任命される

私たちのアジア・太平洋Y M C A同盟会計の西村隆夫氏が、ワイズメンズクラブ国際協会の次期国際書記（I S G）としての任命されたことに心からの祝意を述べます。彼はローカル及び国際的なレベルでのワイズメンズクラブとY M C Aで、非常に献身的で熟練したボランティア・リーダーです。国際会長のケビン・カミングズ氏は、Y M C Aとワイズメンズクラブに対する西村隆夫氏の経験、意欲及び貢献により、今日の重大な地球規模の諸問題に携わる関連組織として、運動を引き続き育て促進していくでしようと呼んでいます。

10. Y M C Aグリーン・チームを形成への招き

私たちは、地球温暖化の原因解決に取り組み、また気候変動の影響を少なくするためのグリーンチームをつくるY M C Aを奨励します。Y M C Aは、C O 2の排出を減らすことにつとめ、気候変動の影響を減らすために全ての人が行いと行動をあらため、責任をとることを奨励します。

グリーンチームは、組織的ゴールを達成するプロセスを支援するために、アジア・太平洋Y M C A同盟で活動しています。各Y M C Aの取り組みをぜひ私たちと共有してください。

各Y M C Aにおける行動計画

- (1) それぞれのY M C AにおけるC O 2排出に関する調査、
- (2) 地域や国レベルでの“Y M C Aグリーンチーム”の発足、
- (3) 省エネの推進(化石燃料からの転換)
- (4) ゴミの削減・リサイクルの推進
- (5) 植林および森林の保護、
- (6) (地球温暖化に関する)新規啓発プログラムの開発
- (7) グリーン・テクノロジーに関する知識・経験・技術の分かち合いのためのファシリテート、
- (8) 化石燃料を排出する交通機関利用の削減、
- (9) 啓発およびロビー活動
- (10) カーボン・オフセットの推進

11. 2010年Y M C A世界大都市ネットワーク

「世界中の子供たちとユースの健康」は、香港のY M C Aで今年7月25-30日開催のY M C A世界大都市ネットワーク（W U N）会議の主な焦点です。世界中の大きな都市部中心で運営されている多くのY M C Aから80人もの総主事などが2年ごとに開催されるこの会議のために集まります。Y M C A W U Nは、総主事（G S）/最高経営責任者（C E O）のネットワークで、都市化にともなう課題に取り組むための彼らのリーダーシップを強化するために行われています。またW U Nは、C E Oや重要なスタッフのために1年置きにトレーニング・イベントを開催しています。私たちの地域からの3人のC E Oチームが会議でともに働いています。メトロ・シンガポールのC E Oのフィリス・タン氏、香港Y M C Aのチャック・アリソン氏（都市計画）、ビクトリアY M C Aのピーター・バーンズ氏（プログラム）が共同議長を務めています。

12. ユース・イン・フォーカスのコラム - Y M C A 若い執筆者たちを求む！

今年6月から、私たちは国際青年年の祝いで「ユース・イン・フォーカス」の特別なコラムを持ちます。私たちは、Y M C Aの若い執筆者たちが、ユースが活動しているプログラムについての記事を送ってくれることを奨励します。記事の内容は、ユースのプログラム参加、ユースに影響を与えている様々な問題と懸念に関すること、ユース参画の良い取り組み、Y M C Aにおける関わりとリーダーシップに関してなどです。締切は毎月25日です。

13. イベント/会議予告

日付	イベント 会場
5月25-30日	地球市民トレーナーズ・トレーニング(マカオ)
7月14-16日	A P A Yユースカウンスル(香港)
7月16-19日	世界Y M C A同盟ユース・フォーラム(香港)
7月19-25日	第17回世界Y M C A大会(香港)
7月25-26日	第18回A P A Y大会実行委員会(香港)
9月24-28日	A P A Yジェンダー・ワークショップ(インド)
10月19-24日	第3回A P A YユニY会議(フィリピン・バギオ)
10月25日~11月12日	Y M C Aスタッフ/エキュメニカル・グループのための平和学校(SOP)(スリランカ)
11月14日~12月11日	第28回アドバンススタディ(香港)

14. 総主事室からのメッセージ

4月にアメリカで行われたNorth America YMCA Development Organization (NAYDO) 主催のファンドレイジング研修に参加しました。この研修会には世界各地から千名以上の参加者があり、それぞれのY M C Aの専門のファンドレイザーや総主事などが参加していて、まさにトップレベルでの取り組みが紹介されていました。最近では、全米で3千億ドル(約30兆円弱)がN G O やN P Oに寄付されており、Y M C Aは寄付を受ける団体として常にトップ5の中に入っています。この研修に参加して感じたことは、Y M C Aのあり方が大きくシフトしているということでした。

この変化は、きっと世界各地に影響すると思います。活動内容などは、過去のものともそう変わっているというわけではありませんが、地域社会をY M C A運動のなかに巻き込んでいく、あるいはY M C Aが地域の中に入り込み、地域に影響を与え、それを企業や個人が応援する仕組みをうまく作っているということです。

Y M C Aは、若者を育て地域社会を改善する団体です。この働きとすばらしい成果を見える形で証明し、そのようなY M C Aの目的やY M C Aの働きの必要性に賛同してもらえれば、Y M C Aはこれまで以上の働きを可能にすることができるというメッセージが感じられました。そのためには、役員(理事や常議員)のあり方、専門家の導入、スタッフとボランティアのあり方などへの変化も求められるということが研修の項目として強調されていました。

今回メキシコから8人、理事とスタッフが参加していました。地方のY M C A理事と話をしましたが、メキシコのY M C Aの変化に驚かされました。そのY M C Aは、これまで小さな規模で地域の女性や子どもへのサービスをしてきましたが、資金はないのでメキシコシティのY M C Aから

ほぼ全額寄付をもらって細々と運営されてきました。ここ数年NAYDO研修に参加して、理事やボランティアがその地域でのYMCAの働きを強め、独自の会館を建てようという話が起きているということです。そのために1億円必要で、5千万円をアメリカの財団から寄付をしてもらおうわけですが、その条件として自分達で残りの5千万円を地元で集めるということでした。理事を中心にチームを作り、真剣に取り組んでいるということでした。そして寄付文化のないメキシコの地方都市でもできるという自信というか確信を持っていることに驚かされました。このような形で、メキシコではすでに数箇所では会館が建てられたということです。成功事例が希望をもたらし、やる気をもった理事やボランティアが真剣に取り組むようになったYMCAの変化を感じることができました。

やっていることは同じでも、その効果をはっきり示したり、示す方法を開発したり、人と会って伝える効果的な方法を作り出すことでYMCAの働き方の変化が起きているということです。この変化は、更なる良き働きを生む効果につながるというシフトです。

今回の研修で、このような変化(シフト)を信じて、研修を積んでいる姿、成功事例によって励まされている姿を感じ取ることができました。アジア太平洋地域でもこのような働き方のシフトを研究して、新しい波を起こせないかと強く感じました。

アジア・太平洋YMCA同盟 総主事 山田公平
主任主事 Cristina A. Dalope & Jose Varghese

アジア・太平洋YMCA同盟

23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong
tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692
e-mail ~ office@asiapacificymca.org
